

健康経営の取り組み

健康経営優良認定企業
サンポー取締役

武川嘉仁さん

国から「健康経営優良法人」の認定を受けたのは今年2月。会社は以前より、社員が健康で気持ちよく働ける環境づくりに取り組んでおり、一つずつ工夫してきた結果、認定に関わる基準を満たしていました。

弊社は甲斐市にあり、1975年に設立、今年43周年を迎えました。



残業時間を見える化

社員数は44（男32、女12）人で、60歳以上の従業員も5人おります。道路や橋梁、河川などを設計する建設コンサルタント会社で、県内の社会資本整備に貢献できるよう、日々努力を続けております。

残業時間の削減には約5年かけて改革。全社員の残業時間の見える化、業務のシェア等で改善してきました。今年の平均残業時間は30時間を下回り、5年前と比較して大幅に短縮できました。これまで第3土曜日は出勤日で、全社員での会議や講習会などを行ってきましたが、社員からの要望に応え、昨年10月から休日とし、完全週休2日制としました。

社員が心の病気にならないようストレスチェックを実施。健康診断受診率は100%で、健診後は保健師による特定保健指導を行っています。職場の活性化やコミュニケーション

の推進を兼ねたレクリエーションはグラウンドゴルフやソフトバレーボール大会を、新年会はボウリング大会を開催。運動機会の増進として、プールを併設した市内の公共施設利用券を社員に補助しています。

社内は完全禁煙の一方、屋外には屋根付きの喫煙所を設置。社内的重要には感染予防の消毒洗浄剤を置いています。AED（自動体外式除細動器）の使い方を含めた救急救命講習会、現場作業での安全のための安全衛生大会などを実施。現場作業でのハチ刺されによるアナフィラキシー症候群への対処として、自己注射薬の「エピペン」を技術職員全員に支給しています。

これらの取り組みのおかげか、今年の新卒社員の応募人数は増えており、今後も取り組みを一層充実させていきたいと考えております。